

東三河振興ビジョンの進捗状況

～豊かさが実感できる 輝く「ほの国 東三河」の実現に向けて～

主な取組の一覧

- 本資料は、東三河振興ビジョンに沿った平成 28 年度の主な取組についてまとめたもの。
- 以下の取組を優先して記載した。
 - ① 平成 28 年度に新たに実施されたもの
 - ② 類似の取組がないもの
 - ③ 規模の大きいもの
- 各取組ごとに、関連する主要プロジェクト推進プランを以下の記号で表示した
 - 地域産業** …… 地域産業の革新展開
 - 再エネ** …… 再生可能エネルギーの導入推進
 - スポーツ** …… スポーツ大会を活かした地域振興
 - 地域連携** …… 地域連携事業の戦略展開
 - 地方創生** …… 地方創生事業の広域展開

1 東三河の魅力の創造・発信 ～地域内外に誇りうる魅力ある地域づくり～

【施策の方向性】

変化し続ける観光客のニーズや他地域との差別化を念頭に置きながら、伝統文化等の各地域の特性を活かした個性的な地域づくりや、地域資源の磨き上げを行っていきます。また、東三河の魅力が的確に伝わるよう、地域ブランドの構築を図っていきます。

さらに、広域交通網の整備効果を活かしながら、国内外からの誘客を強化するため、遠州地域や南信州地域、伊勢志摩地域等と連携しながらプロモーションを展開していきます。

「海フェスタ東三河」の開催【東三河8市町村、県】

- 全国規模のイベント「海フェスタ」を開催。東三河8市町村が連携し、「地域力」を高めるとともに、海・川・港についての魅力や重要性を次の世代へ繋げ、多彩で豊かな地域資源の魅力年全国に発信。
 - ・開催期間：平成28年7月16日(土)～31日(日)
 - ・来場者数：約146万人

地方創生



(イベントロゴ)

「Sea 級グルメ全国大会」の開催【蒲郡市】

- 地元の海産物を使った食文化のPRと、みなとの賑わい創出を目的として「第9回みなとオアシスSea 級グルメ全国大会 in がまごおり」を開催。
 - ・開催日：平成28年10月1日(土)～2日(日)
 - ・来場者：68,000人

地方創生



(Sea 級グルメ全国大会 in がまごおり)

「三遠南信食の祭典 in 茶臼山」の開催【豊根村】

- 三遠南信や各地域のブランド、ネームバリューの向上を目的に、三遠南信の地理的な真ん中である茶臼山で、食をテーマとしたイベント「三遠南信食の祭典 in 茶臼山」を開催。
 - ・開催日：平成28年10月30日(日)
 - ・来場者：15,000人

地方創生



(三遠南信食の祭典)

東三河アンテナショップ実証実験【東三河広域連合】

- 平成 27 年度に実施したアンテナショップ実現可能性調査で示された出店モデルの有効性を検証するため、東京都内（浅草及び丸の内）で出店の実証実験を実施。東三河のブランド力向上やファンの獲得等の各要素を検証。

〈第 1 回〉

- ・開催期間 平成 28 年 12 月 1 日（木）～4 日（日）
- ・会場 まるごとにつぼん（東京都浅草）

〈第 2 回〉

- ・開催期間 平成 29 年 1 月 12 日（木）～15 日（日）
- ・会場 東京丸の内の東京シティアイ



(ブランドショップ実証実験)

地域連携 地方創生

奥三河DMOの設立【奥三河広域観光協議会、新城市、設楽町、東栄町、豊根村、県】

- (一社)奥三河観光協議会が、平成 29 年 3 月 28 日に「日本版DMO候補法人」の登録を国に申請（平成 29 年 5 月 12 日に認定）。

奥三河地域が目指す観光コンセプトとして「おいでん奥三河-交流を生む観光まちづくり-」を掲げ、地域の観光まちづくり実践者や観光協会と連携し、観光まちづくりを推進。

※DMO：Destination Management /Marketing Organization の略

地域の『稼ぐ力』を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する『観光地経営』の視点に立った観光地域づくりを行う推進体制。

奥三河パワートレイルの開催【県、新城市、設楽町、東栄町、豊根村】

- 茶臼山高原（豊根村）から湯谷温泉（新城市）までを走るトレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」を開催。

〈第 2 回大会〉

- ・開催期間：平成 28 年 4 月 23 日（土）～24 日（日）
- ・出走者数：780 人（うち完走者数 475 人）

- エイドステーションにおいて、ランナーに地域特産品を提供するとともに、上位入賞者へ東栄町のチェーンソーアートで作成したカモシカのトロフィーを贈呈。

- フィニッシュ会場で開催された「トレランEXPO」では、長篠陣太鼓の演奏を実施するとともに、奥三河の特産品を販売。



(奥三河パワートレイル)



(トレランEXPOの様子)

スポーツ 地方創生

ダモンデトレイルの開催支援【新城市】

- トレイル初心者でも楽しめるようソロ、もしくは1チーム4人までのチームで交代しながら走り、3時間の周回数を競うトレイルランニング大会「ダモンデトレイル」を開催。

愛知県民の森を流れる大津谷川沿いに整備されたトレイルを利用した特設コース（1周約2.7km）で実施。

- ・開催日：平成28年5月15日（日）
平成28年10月16日（日）

スポーツ 地方創生



（ダモンデトレイル）

三遠ネオフェニックスのホームアリーナ誘致【豊橋市】

- 東三河初のプロスポーツチーム「三遠ネオフェニックス」が、男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」の1部リーグへ参入。豊橋市総合体育館をホームアリーナとして活動。

※平成28年7月1日よりクラブ名を「浜松・東三河フェニックス」から「三遠ネオフェニックス」に変更。

スポーツ 地方創生



（三遠ネオフェニックス）

セーリング国際大会の招致【県、蒲郡市】

- 「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」において、平成29年夏のレーザー級世界選手権開催決定に続き、平成29年秋のセーリングワールドカップの開催が決定。

スポーツ 地方創生



（セーリング競技）

「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」の機能強化【県】

- 大規模な国際大会にも対応できるよう、クラブハウスや浮棧橋などの施設を拡充。

スポーツ 地方創生



（海陽ヨットハーバー）

第 20 回アジア競技大会の招致【県】

- 平成 28 年 9 月 25 日にベトナム・ダナンで開催されたアジア・オリンピック評議会（OCA）の総会において、第 20 回アジア競技大会（2026 年）の愛知・名古屋での開催が決定。

東三河地域は、バスケットボール、自転車（ロードレース）、サッカー、セーリングの会場候補地として開催構想に記載。

スポーツ 地方創生



（知事によるプレゼンテーション）

東三河素敵ストーリーコンテストの実施【県】

- 「東三河の快適な暮らし」を伝えるストーリー作りの一環として、東三河の地域資源の良さを伝えるショートストーリーを公募。集まった素材を活用し、PRポスター・動画を作成。

- ・応募期間 平成 28 年 11 月 7 日～平成 29 年 1 月 10 日
- ・応募件数 182 件

地方創生



（応募作品「花祭りの鈴」）

東三河魅力体験セミナー・ツアーの実施【県】

- 東京圏在住者等を対象に、東三河の産業・観光・自然等の魅力を発信し、観光交流等の促進につながるセミナーを開催。

- ・第 1 回 平成 28 年 11 月 6 日（日） 銀座ファーマーズラボ 49 名参加
- ・第 2 回 平成 29 年 1 月 21 日（土） 豊川稲荷東京別院 43 名参加

- 東京圏在住者等を対象に、東三河の魅力を体験するツアーを開催。

- ・第 1 回 平成 28 年 11 月 12 日（土）～13 日（日）
新城市・設楽町・東栄町・豊根村
98 名応募 18 名参加
- ・第 2 回 平成 28 年 12 月 10 日（日）～11 日（日）
蒲郡市・田原市 35 名応募 20 名参加
- ・第 3 回 平成 29 年 2 月 11 日（日）～12 日（日）
豊橋市・豊川市 146 名応募 20 名参加

地方創生



（蒲郡・田原モニターツアー）

三河山間地域誘客促進事業の実施【県】

- 三河山間地域の魅力等を様々なメディア等を活用して情報発信。交流人口の増加を図り、経済活動の拡大や移住・定住を促進。

- ・TVによる情報発信 : 10・30 分枠各 5 回
- ・ラジオによる情報発信 : 5 分枠 12 回
- ・ガイドブックの作成 : 「ことりっぶ愛知高原・奥三河」発行
- ・WEBによる情報発信 : HP 作成、フォトコンテスト開催
- ・オリジナルバスツアー実施 : ツアー回数 : 10 回、参加者数 : 延 170 人

地方創生



（山里の魅力創造社HP）

クルーズ船寄港地観光の推進

- 10月に、クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が、3月には「飛鳥Ⅱ」が三河港に初寄港。寄港地市町村と近隣市町村等が連携しながら、一斉に上陸する観光客にサービスを提供。

地方創生

新東名開通効果の活用

- 平成28年2月に新東名高速道路愛知県区間が開通し、渋滞緩和や定時性が向上したことで、奥三河への来訪者が大幅に増加。
新東名新城インターの玄関口に位置する道の駅「もっくる新城」では、前年比14.8%増の観光客入込数を達成。

※H27.3.21開業のため、H27.4月～12月とH28.4月～12月の比較

新城奥浜名湖観光連携事業 直虎・虎松 タイガープロジェクトの発足【新城市】

- 平成29年1月に放送が開始されたNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台となる浜松市と新城市が、観光面での連携を深めるためプロジェクト「直虎・虎松 タイガープロジェクト」を発足。
直虎ゆかりの地を巡るスタンプラリー「新城・奥浜名湖 虎虎ラリー」や「新城・奥浜名湖 観光おもてなしセミナー」を実施。

「東栄フェスティバル」の開催【東栄町】

- 国民文化祭と同時開催。東栄町の花祭に加え、豊根村山内花祭や長野県天竜村坂部の冬祭りなど、天竜川水系に伝わる伝統芸能が結集し、祭りの見所を披露。
 - ・開催日：平成28年11月3日（祝）
 - ・来場者：13,000人

地方創生



(東栄フェスティバル)

2 豊かな自然の保全・再生 ～人と豊かな自然が共生する地域づくり～

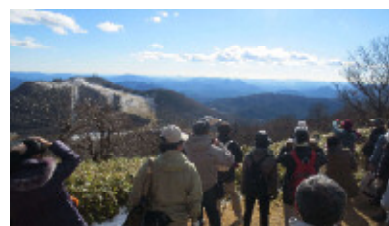
【施策の方向性】

里地・里山・里海における生物多様性保全の取組により、森・川・海の命が連なる流域圏づくりを推進していくとともに、豊かな自然環境を農林水産業の生産の場としてはもとより、教育や健康増進、観光振興等の地域資源としての活用を進めていきます。

また、三河湾の環境再生に向けては、流域全体での関心を高めながら、陸域からの汚濁負荷量の削減や、多様な生態系の働きによる水質浄化機能の回復等に取り組んでいきます。

東三河ジオパーク構想の推進【市町村、県】

- 平成 28 年 5 月に東三河 8 市町村が参加する「東三河ジオパーク構想推進準備会」を発足。
- 東三河ジオパーク構想のとりまとめに向けた全体テーマ等について検討。
- 東三河の大地の魅力を発信する人材を育成するため「ジオガイド養成講座」を開講。受講者 59 名
〈第 1 回〉平成 29 年 2 月 25 日（土）
〈第 2 回〉平成 29 年 3 月 25 日（土）
- 東三河ジオパーク構想の普及啓発を目的としたシンポジウムを開催。
 - ・開催日：平成 29 年 2 月 19 日（日）
 - ・会 場：豊川市一宮生涯学習センター
 - ・参加者 71 名
- 東三河のジオ(大地)の魅力や、大地と動植物・人との関わりを体感するジオツアー「奥三河の大地をめぐるジオツアー」を開催。
 - ・開催日：平成 28 年 12 月 11 日（日）
 - 参加者 48 名



(奥三河の台地をめぐるジオツアー)

地域連携

「奥三河高原 ジビエの森」の運営支援【設楽町】

- 奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会に対して、「奥三河高原 ジビエの森（平成 27 年 4 月稼働）」の運営を支援。

イノシシ・ニホンジカを食肉加工し、道の駅「もつくる新城」等奥三河地域の飲食店等へ食材を供給。



(奥三河高原 ジビエの森)

三河湾大感謝祭の開催【県】

- 多くの人々に三河湾に関心を持ってもらうことを目的に、ライブポートとよはし(豊橋市)において、第3回三河湾大感謝祭を開催。
- 「海フェスタ東三河」とタイアップ。知事とタレントの田中律子さんによる海をテーマとしたトークショー、平成27年6月に設立した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」が開催するシンポジウム等を実施。
 - ・開催日：平成28年7月23日(土)
 - ・来場者数：約5,000人



(三河湾大感謝祭)

「いらご さららパーク」の希少種エリア一部供用開始【田原市・県】

- 伊良湖休暇村公園内において全国初の砂丘とオアシス(湧水)の再生をテーマとした「いらご さららパーク」を整備。
- 平成28年4月1日には希少な海浜性植物の展示・保全を目的とした「希少種エリア」が一部オープン。
- 休暇村伊良湖と共にアウトドアフェスタを実施。
 - ・開催日：平成28年9月25日(日)



(希少種エリアの「ハギクソウ」)

自然環境の保全・再生を担う人材育成【県】

- 東三河地域の自然環境の魅力を広く普及啓発する人材を育成するため「自然の魅力発信リーダー養成講座」を開催。
 - 〈第1回〉平成28年7月2日(土) 参加者 23人
 - 〈第2回〉平成28年7月9日(土) 参加者 21人
 - 〈第3回〉平成28年7月16日(土) 参加者 17人
- 平成27年度に実施した「“ほの国自然ソムリエ”学校」の修了生等を対象に、環境保全活動の盛んな特徴あるフィールドを専門家とともに訪問する「フィールドマッチングツアー」を開催。
 - 〈第1回 渥美半島コース〉平成28年6月11日(土) 参加者 27人
 - 〈第2回 吉田城周辺コース〉平成28年9月24日(土) 参加者 19人

東三河海岸漂着物学習セミナーの実施【県】

- 海岸清掃とあわせて、海岸漂着物の問題についてゲームや工作体験を通じて楽しみながら学べる環境学習イベントを実施。
 - ・開催日：平成28年8月27日(土)
 - ・会場：豊橋海岸吉前・神野新田地区



(東三河海岸漂着物学習セミナー)

3 地域産業の革新展開 ～力強い産業が展開する地域づくり～

【施策の方向性】

環境問題や高齢社会への対応といった社会的課題に焦点を当てながら、本地域の強みであるモノづくりの素地を活かし、次世代自動車や健康長寿、新エネルギーといった次世代産業の創出・集積や、それらの産業をリードする人材の育成を進めていきます。

また、農林水産業については、農商工連携や産学官による技術開発等の促進、さらには海外マーケットへの進出により、地域を牽引する成長型産業への躍進を図っていきます。

海外マーケットに対する販路開拓

【県】

- 県産農林水産物等の輸出を促進するため、海外における「愛知フェア」でのPRや広域連携による輸出促進を実施。

〈愛知フェア in マレーシア〉

- ・ 期間：平成28年9月2日（金）～14日（水）
- ・ 場所：クアラルンプール伊勢丹K L C C店
- ・ 内容：販売促進会と商談会、東三河からの5事業者を含む14事業者出展。
(9月8日は知事のトップセールス実施)

〈広域連携による輸出促進(昇龍道物産観光展)〉

- ・ 期間：平成28年11月17日（木）～29日（火）
- ・ 場所：バンコク伊勢丹
- ・ 内容：中経連が中心となって開催する販売促進会と商談会。豊橋市を含む4事業者出展。

地域産業



(愛知フェア in マレーシア)

【豊橋市】

- 農産物の海外販路を開拓および拡大するため、タイ及びシンガポールの現地バイヤーを招聘し、産地の理解成熟を図るとともに、百貨店及び物産展等において、豊橋産農産物のプロモーションを実施。

〈現地バイヤーの招聘〉

- ・ 期間：平成28年10月3日（月）～10月5日（水）[タイ]
：平成28年11月28日（月）～12月1日（木）[シンガポール]
- ・ 内容：JA豊橋の圃場見学や、JA職員、生産者等との意見交換を実施。

〈プロモーションの実施 [タイ]〉

- ・ 期間：平成28年10月20日（木）～11月3日（木）
：平成28年11月17日（木）～11月29日（火）
：平成29年2月16日（木）～2月19日（日）
- ・ 場所：サイアム・パラゴン、伊勢丹バンコク
- ・ 内容：次郎柿、イチゴ、ミニトマトの試食販売

〈プロモーションの実施 [シンガポール]〉

- ・ 期間：平成28年9月16日（金）～9月18日（日）
：平成28年11月11日（金）～11月13日（日）
：平成29年3月3日（金）～3月5日（日）
- ・ 場所：フェアプライス
- ・ 内容：梨、次郎柿、イチゴの試食販売



(タイでのプロモーションの様子)

地域産業

【蒲郡市】

- 海外でマッチング事業を開催し、市の農水産物及び商工業商品の新規販路開拓を支援。
 - ・期 間：平成 28 年 11 月 9 日（水）
 - ・場 所：ニューワールドミレニアム香港ホテル
 - ・参加者：食品関係事業者 9 社 商談件数：81 件

地域産業



(商談の様子)

【田原市】

- 海外販路開拓のため、シンガポールにおいて田原市産農産物の販売プロモーションを実施。
 - ・期間：平成 28 年 7 月 8 日（金）～18 日（月）
 - ・場所：伊勢丹スコッツ店（シンガポール）
 - ・内容：田原市産農産物の販売プロモーションを実施。（7 月 8 日は、市長、JA 組合長のトップセールス実施）

地域産業



(市長によるトップセールス)

【豊橋市・田原市】

- 農産物の海外輸出を推進するため、香港のシェフを招聘し、産地の理解成熟を図るとともに、現地の小売店においてプロモーションを実施。
 - 〈シェフの招聘〉
 - ・期間：平成 28 年 4 月 1 日（金）、平成 29 年 2 月 1 日（水）～7 日（火）
 - ・内容：JA 豊橋、JA 愛知みなみの圃場、施設を視察。
 - 〈プロモーションの実施〉
 - ・内容：香港の小売店 19 店舗で農産物のプロモーションを実施

地域産業



(香港でのプロモーションの様子)

再生医療産業化の推進【蒲郡市】

- 蒲郡市ヘルスケア計画に基づき再生医療のまちづくりを推進するため、再生医療に関する事業を企画運営する「蒲郡再生医療産業化推進委員会」を設立。
- 再生医療の実用化及び産業化の実現化に向けた取組を推進。
 - ・小学生体験講座：23 名参加
 - ・高校生向け再生医療ラボ見学ツアー：29 名参加
 - ・市民講座：117 名参加

地域産業



(小学生講座の様子)

「東三河産業創出協議会」における取組【東三河広域経済連合会】

- 豊橋・豊川・蒲郡商工会議所を中心に、東三河地域の商工会、(株)サイエンス・クリエイト、豊橋技術科学大学の支援機関が連携し、「ものづくり博 2016 in 東三河」を実施。
- 東三河のものづくり産業における新事業や新製品開発、販路開拓に繋がる支援活動を展開。
 - ・開催日：平成 28 年 6 月 17 日(金)、18 日(土)
 - ・会場：豊橋市総合体育館
 - ・入場者：23,000 人
 - ・行事：事業所の生産品、製品、商品の業種別展示と実演、燃料電池自動車(FCV)展示・試乗会、ドローン飛行実演、あいちさんフェスタ 等



(ものづくり博 2016 in 東三河)

地域産業

木質ペレットの製造【豊根村】

- 「とよね木サイクルセンター」において、間伐材を無駄なく利用するため、木を粉砕し圧力をかけて直径 1cm、長さ 2cm 程度の円筒形に圧縮成型した木質燃料を製造。

再エネ



(木質ペレット)

4 安心・安全な地域づくり ～安心して安全に生活できる地域づくり～

【施策の方向性】

東海、東南海及び南海地震の三連動地震や南海トラフを震源とする巨大地震、台風・集中豪雨等の自然災害に対し、ハードとソフトの両面において、生命・財産を守る防災・減災対策を強化していきます。

また、医療や介護の課題に対し、地域間における連携や地域全体での支え合い等を促進しながら、充実・強化を図るとともに、交通安全・防犯対策を進め、地域の安心・安全を確保する取組を強化していきます。そして、奥三河においては、集落機能の維持・再生や生活環境までを見据えた、きめ細かな対応を行っていきます。

防災・減災対策の推進

- 国からの応援を迅速かつ円滑に受け入れる体制を確保するために県が策定した「南海トラフ地震における愛知県広域受援計画」に基づき、広域物資輸送拠点開設訓練を実施。

- ・実施日：平成 29 年 2 月 15 日（水）
- ・会場：豊橋市総合体育館、東三河総合庁舎
- ・目的：広域物資輸送拠点の開設を中心とした基本的な知識の習得、広域物資輸送拠点の運営における課題抽出等



(訓練の様子)

三河の山里サポートデスクの運営【県】

- 移住や起業、集落支援などを総合的にサポートする現地拠点「三河の山里サポートデスク」を運営し、三河山間地域と都市との交流、地域産業の活性化を図り、移住・定住を推進。

地方創生



(三河の山里サポートデスクHP)

過疎バス路線維持に対する支援【県】

- 山間地域の住民の足として利用されている「乗合バス事業者の運行路線」及び三河山間地域市町村が住民の交通の利便を確保するため運行する「市町村営バス路線」の維持に対する支援を実施。



(おでかけ北設マスコットキャラクター)

5 誰もが活躍できる地域づくり ～誰もが希望を持って活躍できる地域づくり～

【施策の方向性】

若者、女性、高齢者、外国人など誰もが能力を十分に発揮し、社会の様々な場面で活躍できるよう、きめ細かな教育環境づくりや職業観・職業能力の育成、多様で柔軟な働き方を可能とする就業環境の整備などの取組を進めていきます。

また、拡大する公共ニーズを地域全体で支える「新しい公」の担い手として、企業やNPOなど様々な主体との連携・協働を促進し、相乗効果を生み出していきます。

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、(株)サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 平成26年10月に、産学官が連携し、地域産業・地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 平成28年度は、各構成団体の人材育成プログラムを共有・一元化して情報提供するポータルサイトを立ち上げ、人材と育成プログラムとのマッチングを推進。
- 「人工知能時代のものづくり・ひとづくり」をテーマにしたシンポジウムを開催。
 - ・開催日：平成29年2月15日（水）
 - ・会場：ホテルアークリッシュ豊橋
 - ・参加者数：約120名



(社会人キャリアアップ連携協議会シンポジウム)

地方創生

若年者雇用促進対策事業【県】

- 大都市圏からの若者の流入を促進するとともに、地元企業の人材採用スキルの向上と若者の円滑な就職活動を支援することで、産業人材の確保と若者の定住を図るため、人材流入促進事業等を実施。
 - ・人材流入促進事業
 - 東三河しごと体感ツアー 2回
 - ・採用活動支援事業
 - 新卒採用支援セミナー 1回
 - ・就職活動支援事業
 - 東三河ワーク×スタイル研究会 5回
 - 親子で参加！東三河就活準備ツアー 2回
 - 大学生就業体験道場 10回



(東三河しごと体感ツアーの様子)

地方創生

やま・ひと・しごと広域連携推進事業【県】

- 農林業の振興や6次産業化、観光振興などを志す都市部の若者等、山里での起業実践に意欲のある者10人を、三河の山里サポートデスクの運営スタッフとして雇用。県・市町村・経済団体との連携のもと、起業実践を支援。

地方創生

「メイカーズ・ラボとよはし」を核とした人材育成【豊橋市】

- 最新のデジタル工作機械を備えた新たなものづくりの場である「メイカーズ・ラボとよはし」を活用。
- ワークショップや講習会、ハッカソンの開催等多彩なメニューを展開。ユニークな製品を生み出す起業家（メイカー）や、企業の研究開発を担う技術者の育成を推進。



(ワークショップの様子)

※ハッカソン：ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた言葉。提示されたテーマに対して、決められた時間の中で、自分たちのスキルを活用して何らかの成果物を製作する、参加型のイベント。

地方創生

東三河産業アカデミーの開催【東三河広域経済連合会】

- 東三河の商工会議所・商工会が連携し、全会員を対象として経営幹部及び管理監督者向け人材育成セミナーを開催。

地方創生

次世代「農力」UPアカデミー事業補助金【豊橋市】

- 地域の産学官金が連携し、植物工場の管理運営をはじめとする先端技術に長けた農業人材の育成講座や次世代農業を担う人材確保のためのインターンシップ事業を実施。

地方創生



(インターンシップの様子)

愛知県立田口高校『お仕事フェア』開催【設楽町】

- 卒業後の就職を見据え、地元に着用して働くことを選択肢として考えてもらえるよう、高校体育館で「お仕事フェア」を開催。町内外の16社が出展し、同校1, 2年生に自社の仕事や地元で働くことの誇りについて説明。

地方創生



(『お仕事フェア』の様子)

地域農業を支える次世代人材の育成調査【田原市・豊橋市】

- 地元農業者、農業系高等学校へのアンケート調査や、農業関連企業へのヒアリング調査等を実施し、次世代農業人材育成のための教育機関や学習機会に対する必要性を確認。また、機関の設置にあたっての方向性についても整理。

地方創生

6 地域を支える社会基盤の整備 ～地域の産業や暮らしを支える社会基盤の整備～

【施策の方向性】

「東三河1時間交通圏」を確立する道路整備や、バス、鉄道、フェリーといった地域公共交通の維持・確保により、地域内外とのネットワークを充実していきます。

また、世界と直結する三河港の機能強化を進め、グローバルに事業展開する産業を支えるとともに、三河港周辺の国際的な生産・物流拠点の形成や新たな産業集積につなげていきます。

あわせて、活発な産業活動が持続可能となるよう、水資源やエネルギーの安定的・恒久的な確保を図っていきます。

広域的な幹線道路網の整備促進【県】

- 三遠南信自動車道、名豊道路の未開通区間の早期整備や浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現等を地域が一体となって国に働きかけるなど、広域的な幹線道路網の整備を促進。
- 浜松三ヶ日・豊橋道路については、平成29年3月、国直轄事業による調査が予算化。
- 国道151号においては、宮下交差点立体化に向け、予備設計、地質調査を実施。



(名豊道路の整備 (蒲郡市内))

三河港の機能強化【県】

- 神野西地区におけるふ頭用地の拡張整備や、蒲郡地区における水深11メートル岸壁の整備等を実施。



(三河港)

市民ファンドを活用した公共施設における太陽光発電事業

- 地域住民と一体となった再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、市民ファンドを活用した資金調達を条件として、公共施設における屋根貸し太陽光発電事業者を公募。
- 愛知県では、平成27年6月18日から発電を開始した水産試験場を始めとする5施設で発電を継続。
- さらに、平成28年4月25日には、豊川浄化センターの敷地を活用した太陽光発電施設(1,990kW)が稼働。
- 新城市では、市民ファンドを活用して出資を募り、新城市文化会館を始めとする23施設で発電を開始。
- 豊橋市では、第三セクター「サイエンス・クリエイト」が市民ファンド(みんなおい電市民ファンド)を活用して豊橋市民から出資を募り、市の遊休施設を活用した太陽光発電所を設置。平成27年4月より発電を開始。平成28年6月に出資者へ初配当を実施。



(豊川浄化センター)



(新城市文化会館)

再エネ

水源林保全流域協働事業【豊川水源基金】

- 水源涵養などの公益的機能が減退しつつある水源林を保全するため、東三河の全市町村が協働し、水道料金1トン1円相当額を拠出することにより、森林整備を担う人材育成事業や森づくり事業を支援。



(森林整備を実施した森林)

豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業【県】

- 豊川浄化センターにおいて、汚泥処理施設の改築とバイオマス利活用施設の新設及び運営を行う事業をPFI手法により事業化。平成26年12月に事業者と契約、平成29年2月1日より発電開始。

再エネ



(豊川浄化センター：PFIで再稼働したメタン発酵施設)

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業（中島処理場）【豊橋市】

- 中島処理場において、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみからバイオガスを生成し、エネルギー利用する事業をPFI手法により実施。平成26年12月に民間事業者と契約。平成29年10月の運営開始に向け、施設を整備。

再エネ



(バイオマス利活用センター 完成予想図)

7 地域力・連携力の発揮 ～愛知県、ひいては日本の発展の一翼を担う地域づくり～

【施策の方向性】

産業振興や行政の効率化など、地域の様々な課題を解決するため、地域づくりの主体となる県、市町村、経済団体、大学、NPO、住民等が共通の課題認識のもとに、それぞれが持つ強みを活かしあった連携を推進していきます。

また、これまで培ってきた三遠南信連携の実績や信頼感をもとにしながら、より活発な取組へと深化させていきます。

東三河広域連合による連携強化《再掲》

- 平成 27 年度に実施したアンテナショップ実現可能性調査で示された出店モデルの有効性を検証するため、東京都内（浅草及び丸の内）で出店の実証実験を実施。東三河のブランド力向上やファンの獲得等の各要素を検証。

〈第 1 回〉

- ・開催期間 平成 28 年 12 月 1 日（木）～4 日（日）
- ・会場 まるごとにつぼん（東京都浅草）

〈第 2 回〉

- ・開催期間 平成 29 年 1 月 12 日（木）～15 日（日）
- ・会場 東京丸の内の東京シティアイ

地域連携 地方創生



（ブランドショップ実証実験）

東三河広域経済連合会による連携強化《再掲》

- 構成団体の連携により「東三河産業アカデミー」や「飯田線プロジェクト」等を推進。
- 平成 28 年 6 月 17 日には豊橋市総合体育館において「ものづくり博 2016 in 東三河」を開催。事業所生産品等の展示と実演、燃料電池自動車展示・試乗会、ドローン飛行実演、ものづくり体験、記念後援等を実施。2 日間で 23,000 人が来場。

地方創生



（ものづくり博 2016 in 東三河）

愛知県東三河広域観光協議会による連携強化

- 平成 28 年度は、「連携強化」と「情報発信強化」をテーマに東三河各地域団体等との連携を図りながら「東三河“グルメと逸品”フェスティバル」、「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2016 への出展」、「飛鳥Ⅱ東三河初寄港 東三河観光物産展」等を実施

〈東三河“グルメと逸品”フェスティバル〉

地域グルメと特産品扱う事業者 44 店舗が出展。

- ・開催日：平成 28 年 6 月 17 日（金）～18 日（土）
（ものづくり博 in 東三河 2016 と併催）
- ・会場：豊橋市総合体育館
- ・来場者：23,000 人

<VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2016 への出展>

東京で開催されたイベントで、海外の訪日旅行取扱会社等と直接商談。

- ・開催日：平成 28 年 9 月 21 日（水）～23 日（金）
- ・会 場：東京ビッグサイト
- ・海外バイヤー 25 社と商談

<飛鳥 II 三河港初寄港 東三河観光物産展>

クルーズ船の寄港にあわせ、東三河全体でおもてなし・賑わい創出事業を行い、東三河のいいもの・うまいものでお出迎え。（三河港振興会と共催）

- ・開催日：平成 29 年 3 月 17 日（金）
- ・会 場：三河港神野埠頭地区 7 号岸壁
- ・来場者：3,000 人（うち乗船客、クルー 1,000 人）

地方創生



(飛鳥 II 関連イベント)

ロケ誘致支援による連携強化【東三河広域観光協議会】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。
- 5 月に豊橋市羽田八幡宮周辺で撮影された「docomo」のイメージCM、12 月から 1 月にかけて豊橋市公会堂、新城市四谷千枚田、田原市長興寺などで行われた TBS ドラマ「LEADERS II」等様々なロケに協力。

地方創生



(撮影風景)

三遠南信連携の推進

- 「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」に設置した「道路」、「産業」、「安全・安心」の 3 つの事業部会を中心として、各事業を実施。三遠南信サミットを開催し、広域連合の設置に向けた検討を行うこと等を盛り込んだ宣言を採択。

平成 28 年 9 月 23 日には愛知大学との間で、相互協力及び連携に関する協定を締結。



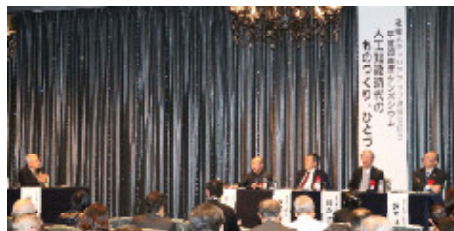
(三遠南信サミット チラシ)

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化<<再掲>>

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、(株)サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 平成26年10月に、産学官が連携し、地域産業・地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 平成28年度は、各構成団体の人材育成プログラムを共有・一元化して情報提供するポータルサイトを立ち上げ、人材と育成プログラムとのマッチングを推進。
- 「人工知能時代のものづくり・ひとづくり」をテーマにしたシンポジウムを開催。
 - ・開催日：平成29年2月15日（水）
 - ・会場：ホテルアークリッシュ豊橋
 - ・参加者数：約120名

地方創生



(社会人キャリアアップ連携協議会シンポジウム)